

朝六小だより

朝霞市立朝霞第六小学校

平成30年6月1日(金)

6月号 児童数 894名

TEL:048-461-0410



【学校教育目標】 「心豊かに自ら学ぶたくましい人間の育成」

思いやりのある子 自ら学ぶ子 元気な子

【めざす学校像】 「学ぶ喜びと感動のある学校」

【朝霞六小の合い言葉】 ～花あり 歌あり 笑顔あり～



「自分はきっとできる」「あなたならきっとできる」

校長 木村 直美

5月10日、11日に6年生の修学旅行がありました。子供たちが自ら目標をかかげ、その目標を達成できるよう学年全員で心を合わせて取り組んだ行事でした。「時を守り、場を清め、礼をつくす」と校内にも掲示していますが、この大切な3つのことを子供たちが一生懸命に実践している姿に感激しました。5分前行動や「来た時よりもきれいに」という心がけ、そして、誰に対しても明るい挨拶と感謝の気持ち。大勢で行動しているときに、「時、場、礼」をわきまえると、こんなにもお互いが清々しい気持ちになるのだと引率した教員も実感しました。バス、観光会社、ホテル、観光施設、ふくべ細工指導の方々から、たくさん褒めていただき、子供たちも誇らしげでした。

また、5月23日には、市内球技大会が朝霞市体育館で開催されました。朝霞八小との対戦でしたが、両校の5年生のスポーツマンシップときびきびとした行動に、とてもうれしい気持ちになりました。この日も、子供たちが自分たちで考えながら、「時、場、礼」をわきまえて行動しようと努力していたと思います。そのおかげで、大会全体が引き締まり、大きなけがやトラブルもなく、本当にさわやかな気持ちで、みんなの笑顔で輝いた1日でした。

「きっとできる」「きっと頑張れる」「うまくできそう」という気持ちを「自己効力感」といいます。自己効力感の高まりが人間のモチベーションを高め、積極的に行動し、成果となり、そしてさらに自己効力感が高まっていきます。

「自己効力感」つまり「自分はきっとできる」という気持ちは、「4つの源泉」によって形成されると言われています。「達成体験」「代理体験」「言語的説論」「情緒的高揚」の4つですが、この時期は「達成体験」が大きいでしょう。大きな行事、スポーツや芸術、学業、習い事などで、努力した成果としての目標達成や成功体験をたくさん経験させることです。次に大切なことは、「言語的説論」。これは周囲の大人の役目です。頑張ったことを認め、「よくやった」「よく頑張った」「こんなところがよかった」と具体的に称賛する。くじけそうなときは見守りながら「きっとできる」と励ますことも重要です。(ちなみに、「代理体験」はアニメや映画の登場人物、スポーツ選手や芸術家などの成功をみて共感すること。「情緒的高揚」は、感動や興奮、感激です。「4つの源泉」はいずれも意義があります。)

今月号では、5、6年生の例をあげましたが、本校では、どの学年も、発達段階に応じ、目標に向かってチャレンジしながら、目標を達成し、その充実感や達成感を繰り返し体験できるように教育活動を行い、子供たちの自己効力感を育ててまいります。



3年 国語 群読会
「きつつきの商売」



5年 市内球技大会



6年 修学旅行:東照宮



6年 修学旅行:湯滝